



北陸石仏の会々報

滑川市栗山 馬道観音石碑

早月川左岸に位置する富山県滑川市栗山集落の中心にある馬道観音と刻むと石碑。

本体高さ二メートル三十センチ、幅二メートル九十センチ、大正七年三月建立。

隣接する家の当主、池原敷さんにいわれを聞いた。一昔前、この集落や近隣の集落に馬車引きや博労がたくさんおられた。

私の祖父も馬車引きしておられた。この馬たちの供養に建てられたものと聞いている。栗山青年団や近隣集落の人たちの名前が刻んである。皆馬車引きをしておられた人たちである。

今も年一度、お祭をしているという。

大正四年頃、剣岳池ノ平にモリブデンを含有する輝水鉛鉱が発見され、荷馬車が鉱石運搬の主要手段になっていた。また、その頃から盛んに早月川水系の水力発電所建設が始まり、早月川の沿線にある栗山地内にも私財運搬の主要道路が通っていた。そのため荷馬車引がこの地域の主要な産業になったのであろう。

「馬道観音」の命名は馬頭観音と道祖神の信仰を習合して、見事だと思う。全国的にみてもこの名前の観音の報告はない。

二〇〇七・四・一二

平井 一雄

第33号

平成19年9月28日発行

編集と発行

北陸石仏の会
(日本石仏協会北陸支部)

代表 北村市朗

〒939-1315

富山県砺波市太田1770
尾田武雄 方

電話 0763-32-2772

振替 00740-2-11974

(年会費 3,000円)

第1回 石仏フォーラム

in 庄川

暑い日が続いた平成十九年八月十一日(土)、砺波市庄川町金屋ふれあいプラザ(水記念公園内)にて北陸石仏の会(日本石仏協会北陸支部)の主催で、地元社会教育団体土蔵の会や庄川町たんぽぽグループ、庄川峡観光協同組合、となみ散居村ミュージアム、砺波郷土資料館の共催で開催された。北村市朗北陸石仏の会長の開会の挨拶の後、石仏の講演が行われた演題はつぎの通り。

砺波で初の石仏フォーラム

3氏が研究発表

第一回石仏フォーラムIN庄川は十一日、砺波市庄川町金屋の庄川水記念公園内「庄川ふれあいプラザ」で開かれ、尾田武雄北陸石仏の会事務局長の「砺波地方の石仏」など三人の事例発表や「地域と石仏、観光と石仏」のテーマで意見交換を行った。

小矢部市の砺波地方の石仏四千八百三十四体を調査した結果をまとめ、地蔵が全体の66%を占めているほか、祠文化と言われるほど、ほとんどがお堂の中に安置されていることなどを説明した。

福井の石仏

北陸石仏の会長

北村市朗氏

神通川流域の石仏

日本石仏協会理事

平井一雄氏

砺波地方の石仏

北陸石仏の会事務局長

尾田武雄氏

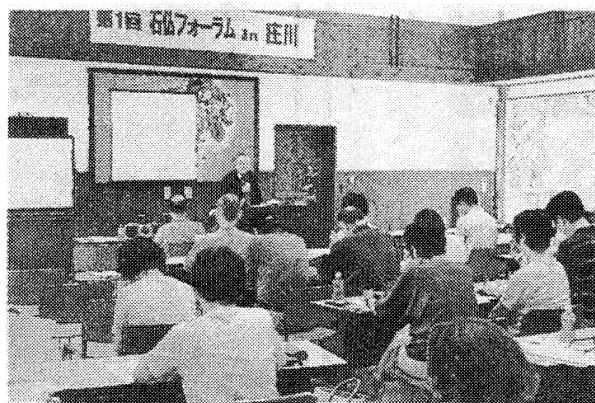


石仏について語り合う

庄川でフォーラム

北陸石仏の会(北村市朗会長)と土蔵の会(尾田武雄会長)は十一日、第一回石仏フォーラムを砺波市庄川町金屋の庄川ふれあいプラザで開き、石仏に関する研究や調査結果を持ち寄り発表

した。写真。



北村会長は「福井の石仏」と題し、福井県内の石仏の特徴などを紹介した。日本石仏協会の平井一雄理事は「神通川流域の石仏」、尾

田会長(北陸石仏の会事務局長)は「砺波地方の石仏」の題で発表した。

三人が「地域と石仏 観光と石仏」をテーマに話し合った。

富山新聞 H19・8・12

この後に、庄川峡観光協同組合専務理事 川崎和夫氏を囲み「地域と石仏 観光と石仏」について石仏のフォーラムが開かれた。

富山市磯部町の石仏調査報告

所在地 富山市磯部町4丁目
松川の万寿橋たもと

法量 釈迦如来
高さ80センチ 幅50センチ
大日如来
高さ82センチ 幅46センチ
地蔵
高さ32センチ 幅23センチ

石材 釈迦如来・大日如来は安山岩
地蔵は砂岩である

像造年 釈迦如来と大日如来は江戸時代中期と思われる
地蔵は江戸時代後期か明治時代前期と思われる

所感 元は五体あり、五如来と呼ばれていた。戦前には石積みの上に五体揃って並べられていたという。

元禄年中に、近くに牢屋がありそれに関わるものかもしれない。

釈迦と大日の如来石仏の仕上げは丁寧で、蓮弁もシンプルであり江戸時代中期の作と思われる。



周辺の石造物

- ・石 碑 正面に「久郷清次郎碑」
正面左に「明治四十一年八月建之 神通川船方中」
- ・法華塔 正面「南無法蓮花經」
左側面「天下泰平国土安泰」
台座正面「法界萬靈」「陣門派同行」
裏面「嘉永六癸丑年建之 日口（花押）」
台座裏「石工町新庄 鐫木屋吉蔵」

北陸石仏の会 第36回例会参加者名簿

富山	岩城義弘	柳沢栄司	中川 達
砺波	平井一雄	宮本武征	西村多恵子
金沢	南 金三	尾田武雄	
福井	滝本靖士	池田紀子	長谷川かおり
	北村市朗	早川明子	

以上13名



北陸石仏の会 第36回例会案内

中能登半島の石仏たち

月 日 平成19年10月21日(日)

時間 集合 高岡駅前 午前8時30分

砺波駅前 午前8時

金沢駅西口 午前8時30分

参加費 三,〇〇〇円

申し込み 次の事項を記入の上はがきで

住所・氏名・電話番号・集合場所

申し込み先 〒九三九・一三五 砺波市太田一七七〇 尾田武雄方

北陸石仏の会事務局 電話〇七六三・三二・二七七二

締め切り 平成19年10月18日

見学予定 以前の例会で見学した所も数ヶ所あります。

- ・羽咋市 千代町 名号塔(祐天、徳本、光導)
- ・志賀町 大島海岸 大島諸願堂(異形六地藏石幢)
- ・志賀町 町 梵字金剛界大日如来板碑
- ・志賀町 町 浄眞寺 五輪塔、多門天
- ・志賀町 安部屋 西念寺 梵字不動明王板碑
- ・志賀町 上野 弘法池 梵字般若板碑
- ・志賀町 北吉田 藤巻地藏(線刻地藏座像)
- ・中能登町(旧鳥屋町) 良川沖 三宝荒神、青面金剛(庚申)
- ・中能登町(旧鳥屋町) 良川北 名号塔(光導)
- ・七尾市 飯川 光善寺 梵字虚空蔵菩薩板碑
- ・中能登町(旧鹿島町) 高畠 百万遍念仏塔、題目塔

(諸事情により見学地を変更する場合があります)

